

人の命と財産を守る

THKの免震装置



静岡県藤枝市
有限会社仲田工務店
代表取締役

仲田 修二様

Interview 免震施工事例

家族の命を守るため、免震装置を導入。 駿河湾地震後、施主様からも喜ばれました。

2006年に、免震装置をつけた自宅の建て替えが完成しました。もともと、免震装置を取り付けた住宅の施工もやっていたので、自分の家を建て替えるなら免震でやりたいという気持ちがありました。当初はTHK以外の装置を取り付けようと考えていましたが、静岡支店に敷設されている免震装置の構造を確認し、THKの採用を決定しました。と言いますのもレールと基礎が一体式で、震度6の縦揺れでもその力を横に逃がしてくれると思ったからです。2009年8月11日の朝は、台風の動きが気になってテレビを見ており、家が少し動いているのは風の影響かなと思いましたが、ところがテレビに地震速報が出て、初めて地震だと気付きました。駿河湾地震前までに7軒のお宅に免震装置を薦め施工させていただいたので、地震の影響を確認したところ何事もなく、皆さん喜んでいらっしゃいました。特に免震装置の見積りを見て採用を躊躇されていた施主様がいましたが、築後3カ月でこの地震を経験し何の被害も出なかったことで装置導入を心より喜んでおられたのは印象的でした。

確かに免震装置は安い買い物ではありませんが、家族一人ひとりの命には代えられません。耐震工事同様、免震装置にも補助金システムがあればよいのですが、駿河湾地震以降、藤枝地区では免震意識が高まり、2009年9月に静岡で開催された「住まい博」でのTHK免震体験車への乗車は人気がありました。

Voice 担当者の声

施主様にお会いできる機会をいただいたときには、免震であれば家具は倒れず、ご家族を地震から守れるという“値段に代えられない価値”をご提案させていただいています。「免震」がどういう仕組みか、まだ一般にあまり知られていないので、構造について詳しくご説明します。ただ駿河湾地震以降は、お客様の意識も変わってきました。やはり「怖かった」と言われる方が増え、免震装置の導入を考えている方が多くなりました。一方、工務店様は「免震工事はやったことがない、難しいのではないか」と構えてしまう方も多いのですが、免震の効果をご理解いただけるよう努めています。